

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 イマジニア株式会社

コード番号 4644 URL <http://www.imagineer.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 神藏 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO

(氏名) 中根 昌幸

TEL 03-3343-8911

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,844	3.6	697	102.6	709	111.7	463	85.1
24年3月期第3四半期	2,745	△27.0	344	△56.6	335	△51.8	250	△39.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 470百万円 (112.8%) 24年3月期第3四半期 220百万円 (△45.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	48.33	—
24年3月期第3四半期	26.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第3四半期	9,204		7,979		86.6
24年3月期	8,389		7,720		92.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,975百万円 24年3月期 7,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,605	△1.9	646	22.0	621	16.6	369	△10.1	38.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示を参照してください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	10,649,000 株	24年3月期	10,649,000 株
25年3月期3Q	1,051,290 株	24年3月期	1,051,218 株
25年3月期3Q	9,597,752 株	24年3月期3Q	9,632,584 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や企業の業況判断に下げ止まりや回復の兆しはあるものの、世界経済の下振れや国内のデフレは続いており、依然として厳しい状況にあります。

当社グループの主力事業であるモバイルコンテンツ事業を取り巻く環境は、スマートフォンを中心とした携帯電話端末やタブレット端末などの普及により、音楽・映像・電子書籍等のコンテンツサービスが広がりを見せております。

このような環境下におきまして、当社グループは中期的な経営課題である新たな中期的な収益モデルの育成を図る「新たな成長へのチャレンジ」に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,844,953千円（前年同期比3.6%増）、営業利益697,477千円（前年同期比102.6%増）、経常利益709,545千円（前年同期比111.7%増）、四半期純利益463,903千円（前年同期比85.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (モバイルコンテンツ事業)

モバイルコンテンツ事業におきましては、スマートフォンの急激な市場拡大に対応するため、スマートフォン向けの月額課金サービスの提供及びアプリ販売に注力しております。

上記の結果、売上高1,811,777千円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益755,223千円（前年同期比12.4%増）となりました。

#### (モバイルコマース事業)

モバイルコマース事業におきましては、サイト限定のキャラクター商品の品目数を増やしユーザーへの魅力を高めることやスマートフォン向けのプロモーション展開を強化することにより、コマースビジネスの売上高の拡大を図っております。

また、ライセンス及びセールスプロモーションビジネスではライセンス提携先の拡充に、引き続き取り組んでおります。

上記の結果、売上高251,186千円（前年同期比5.8%増）、セグメント損失21,521千円（前年同期は19,050千円のセグメント損失）となりました。

#### (パッケージソフトウェア事業)

パッケージソフトウェア事業におきましては、変化する家庭用及び携帯型ゲーム機市場において、高いユーザーロイヤリティのタイトルを販売するため「メダロット」シリーズの最新作となる「メダロット7」をニンテンドー3DS向けタイトルとして発売いたしました。

上記の結果、売上高625,602千円（前年同期比104.4%増）、セグメント利益154,586千円（前年同期は22,959千円のセグメント損失）となりました。

#### (投資教育事業)

投資教育事業におきましては、銀行及び証券会社が投資信託を販売するための支援ツールである投資信託提案支援システムのコンテンツの充実に加え、銀行及び証券会社の導入先の拡大にも取り組んでおります。

上記の結果、売上高160,878千円（前年同期比216.2%増）、セグメント損失2,801千円（前年同期は55,252千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して814,716千円増加した9,204,175千円となりました。その主な要因は、投資有価証券が1,009,461千円の増加となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して555,340千円増加した1,224,706千円となりました。その主な要因は、その他流動負債が604,838千円の増加となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して259,375千円増加した7,979,469千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が252,752千円の増加となったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績見通しは、平成24年10月24日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,566,098	6,447,382
受取手形及び売掛金	781,052	688,256
商品及び製品	21,858	40,811
仕掛品	828	123
原材料及び貯蔵品	4	12
その他	166,965	212,405
貸倒引当金	△35,864	△47,594
流動資産合計	7,500,945	7,341,399
固定資産		
有形固定資産	101,450	84,956
無形固定資産	42,680	45,334
投資その他の資産		
投資有価証券	370,969	1,380,430
その他	404,373	377,614
貸倒引当金	△30,959	△25,559
投資その他の資産合計	744,383	1,732,486
固定資産合計	888,514	1,862,776
資産合計	8,389,459	9,204,175
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,755	25,833
営業未払金	424,989	211,565
未払法人税等	64,870	215,846
賞与引当金	—	11,250
その他	154,622	759,460
流動負債合計	665,238	1,223,955
固定負債	4,127	750
負債合計	669,365	1,224,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	3,248,972	3,501,725
自己株式	△622,269	△622,299
株主資本合計	7,761,726	8,014,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,374	△39,146
その他の包括利益累計額合計	△45,374	△39,146
新株予約権	3,742	4,167
純資産合計	7,720,094	7,979,469
負債純資産合計	8,389,459	9,204,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,745,128	2,844,953
売上原価	1,303,399	1,133,973
売上総利益	1,441,728	1,710,980
販売費及び一般管理費	1,097,468	1,013,503
営業利益	344,259	697,477
営業外収益		
為替差益	—	12,615
投資事業組合運用益	3,672	6,795
貸倒引当金戻入額	5,400	5,400
違約金収入	—	4,200
その他	7,264	4,070
営業外収益合計	16,336	33,080
営業外費用		
為替差損	19,244	—
持分法による投資損失	1,783	21,010
その他	4,365	1
営業外費用合計	25,394	21,011
経常利益	335,201	709,545
特別利益		
投資有価証券売却益	145,466	—
固定資産売却益	—	20,000
受取和解金	—	62,535
特別利益合計	145,466	82,535
特別損失		
投資有価証券評価損	1,500	9,998
投資有価証券売却損	45,054	—
その他	381	577
特別損失合計	46,935	10,575
税金等調整前四半期純利益	433,732	781,506
法人税、住民税及び事業税	112,236	313,966
法人税等調整額	70,860	3,635
法人税等合計	183,097	317,602
少数株主損益調整前四半期純利益	250,635	463,903
四半期純利益	250,635	463,903

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	250,635	463,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,718	6,228
その他の包括利益合計	△29,718	6,228
四半期包括利益	220,917	470,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,917	470,131
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	2,150,963	237,389	305,891	50,883	2,745,128	—	2,745,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	175	—	175	(175)	—
計	2,150,963	237,389	306,067	50,883	2,745,303	(175)	2,745,128
セグメント利益 (又は損失)	671,675	(19,050)	(22,959)	(55,252)	574,413	(230,153)	344,259

(注) 1. セグメント利益（又は損失）の調整額は、セグメント間取引消去915千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,069千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益（又は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	モバイル コンテンツ 事業 (千円)	モバイル コマース 事業 (千円)	パッケージ ソフト ウェア事業 (千円)	投資教育 事業 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	1,811,777	247,146	625,151	160,878	2,844,953	—	2,844,953
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,039	451	—	4,491	(4,491)	—
計	1,811,777	251,186	625,602	160,878	2,849,445	(4,491)	2,844,953
セグメント利益 (又は損失)	755,223	(21,521)	154,586	(2,801)	885,485	(188,008)	697,477

(注) 1. セグメント利益（又は損失）の調整額は、セグメント間取引消去1,120千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,129千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益（又は損失）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

重要な会社分割

当社は、平成25年1月31日開催の取締役会において、平成25年4月1日を効力発生日として、当社の投資教育事業部門を会社分割（以下、「本分割」といいます。）し、新たに設立するイマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社（以下、「新設会社」といいます。）に承継させることを決議いたしました。

(1) 本分割の目的

当社は、投資教育事業部門において、銀行及び証券会社が投資信託を販売するための支援ツールである投資信託提案支援システムの普及に努めて参りました。この度、投資教育事業部門が軌道に乗り、収益化したことに伴い、収益に対する責任と権限を明確にするとともに、より専門性を高め、事業を拡大し、収益力を強化していくことを目的として、同部門を分社化し、新会社を設立することといたしました。

(2) 本分割の方法

当社を分割会社とし、新設会社を承継会社とする新設分割であります。

なお、本分割は、会社法第805条に定める簡易分割に該当するため、株主総会の承認を得ることなく行います。

(3) 本分割に係る割当ての内容

新設会社は、本分割に際して普通株式600株を発行し、そのすべてを当社に割り当てます。

(4) 本分割の時期

平成25年4月1日（予定）

(5) 本分割する事業内容、規模

事業の内容 : 投資信託提案支援システム事業、投資教育事業

平成24年3月期売上高：87,486千円

(6) 本分割に係る新設会社の名称、純資産の額及び総資産の額等

商号	イマジニア・インベストメントエデュケーション株式会社
本店の所在地	東京都中央区新富一丁目14番1号
代表者の氏名	代表取締役会長 神藏 孝之
資本金の額	30,000千円
純資産の額	60,000千円（平成25年4月1日予定）
総資産の額	60,000千円（平成25年4月1日予定）